

平成 13 年度臨時（第 4 回）理事会議事録

日 時 平成 13 年 10 月 27（土） 13:00～18:00

場 所 岸記念体育会館 401 会議室

出 席（敬称略、順不同）

小田切満寿雄、戸田邦司、松本富士也、小田泰義、栗田栄一郎、高橋順一、栗原博、戸張房子、名取正精、斉藤威、清水昭、富田稔、広瀬興郎、松田健次郎、都築勝利、水谷益彦、古谷正宏、鈴木保夫、三井祥功、倭千鶴子、池田栄宏、昇隆夫、中山明、石崎五一郎、西原敏文、秋山雄治、井手正敬（委任）、岩田直幸（委任：秋山雄治）、浪川宏（委任：富田稔）、福田義一（委任：富田稔）、平賀威（委任：富田稔）、岩田行史（委任）

以上、出席 32 名、内委任状 6 名

石崎忠朗、青淵隆督

以上、監事 2 名

欠 席（敬称略、順不同）

山崎達光、

以上、1 名

清田博

以上、監事 1 名

議事の経過及び結果

（定足数の確認）

理事 33 名、出席者 32 名（内委任状 6 名）により、寄附行為第 29 条に基づく定足数を充足しており、本理事会は成立しているとの報告があった。

（議長による開会宣言）

山崎達光会長が病氣療養中のため、寄附行為第 19 条に基づいて小田切満寿雄副会長が議長となり、平成 13 年度臨時（第 3 回）理事会の開会を宣言した。

（議事録署名人）

本理事会の議事録署名人としては、議長指名により昇隆夫、松田健次郎の両理事が任命された。

小田切副会長より、山崎達光会長が病氣療養中で今理事会は欠席ですが、全国組織改革の一連の議案で、「評議員選出」と「特別加盟団体」について重要な事項を議決していただきたい旨、挨拶があった。

議決事項（１）評議員選出について

選出方法については平成12年4月における、旧選出方法を廃し、前回理事会承認の8ブロックにおける選出を承認、但しケース1、ケース2の何れかを採択するに至らず評議員候補選出提案（ケース1、ケース2）を各水域に持ち帰って、次回理事会で、ケース1かケース2の選出方法に決定する。

以上継続審議。

議案事項（２）特別加盟団体について

会員の増強、財政の健全化を目指して、特別加盟団体の拡充策を図る事と会員の加入を容易にするための個人加入資格を骨子とする提案の特別加盟団体の加盟について（案）を各理事が再考、対案を次回理事会までに提出することとなった。

以上継続審議。

議案事項（３）平成14年度日本財団助成金申請の件

秋山理事：平成14年度日本財団助成金申請について説明があった。申請内容は、本年度同様、普及活動事業（継続事業：「ヨットの安全指導者講習会」「セリング体験」「ファミリーレス」「少年指導者研修会」）を重点としている。新規事業申請としては、「JSAF日本一周キャンペーン」「計測講習会」「チームセミナー」を申請する。

また、文部科学省が推進している水辺活動の一環とした教職員を対象とした事業、セリング体験はジュニアを対象とした事業、ディングとクルザーを一緒にした事業を展開・検討したいとの発言があった。事業開催場所の住民との協力もしていきたい。

以上承認された。

議案事項（４）ISAF年次総会2003年11月の日本誘致について

広瀬理事：ISAF年次総会2003年11月の日本誘致について説明があった。開催場所は京都、資金面は会長預かりとなっていた300万円を次年度予算化し、これに自治体予算、商工会議所支援、地域スポンサーの協力を得て総予算額1500万円とする。実行委員会（会長：秋山福夫氏、役員：広瀬興郎、中山明、京都府連他）を組織することにした。誘致にかかわる一切の収支等については、実行委員会が責任をもち、自己完結管理を行うとの発言があった。

なお、誘致に伴い、平成13年度の国際委員会の補正予算を申請したい旨、発言。これについては国際委員会予算範囲にて行う事として増額は否決。

中山理事：現在までの進行状況（京都府知事の招聘、商工会議所などの交渉、開催場所となる都ホテルとの交渉、宿泊その他関係など）の説明があった。

議案事項（５）高円宮名誉総裁ご推薦の件

小田切副会長より、本連盟の名誉総裁に高円宮殿下をご推戴することについて提案があった。

以上承認された。

議案事項（６）清田監事退任について

小田専務理事より、清田博監事から一身上の都合により退任届が提出されているとの発言があった。

以上承認された。

議案事項（７）セリングズ® リック協会役員変更について

小田専務理事：議案事項（７）について議決事項から取り下げるとの旨、発言があった。検討事項としては、セリングズ® リック登録料（15,000円）の連盟納付の件、セリングズ® リック協会役員人事の件、国体艇種として日本体育協会とJSAFとの関係調整の件など、再度内容を確認して検討したい。

議案事項（８）公認セリング 教室公認申請について

次回理事会にて議案事項とした。

議案事項（９）「日建レタコムカップ」寄附金の取り扱いについて

鈴木理事：「日建レタコムカップ」寄附金の取り扱いについて事後承認していただきたい旨、発言があった。JSAF公認レースである「日建レタコムカップ」において、日建グループから2,000万円の寄付を受け、日建レタコムカップに大会開催費として2,000万円支払った。

松本副会長より、連盟事業としてレース報告と事業収支報告を提出していただく必要があるのではないかと質問があった。

全日本学生ヨット連盟ならびに関東学生ヨット連盟と契約内容の確認をしていただくことで、事後承認された。

議案事項（10）大会公認願いについて

戸張理事：大会公認願いについて説明があった。開催地の決定が遅れるのが、公認届が事後承認扱いになってしまうケースが多い。

各艇種別団体に開催地、日程の早期決定を促す事とする。

以上承認された。

報告事項（５）オリーブックウィークについて

松田理事より、毎年江ノ島で開催されているカヌーウィークを JSAF として JOC が推進しているゴールドプランとリンクさせて進めていきたいとの報告があった。また、JSAF から ISAF へグレード申請をし、アジアキートの一環として位置づける方向で考えたい。

今後のカヌーウィークは、ジュニアからカヌーレーサーまで参加できる大会にしていきたいとの発言があった。

報告事項（14）その他

栗田常務理事：(株)フォーシーズより 1,000 万円の特別寄付を頂いた。
内訳 500 万円（自主使途）を連盟へ、500 万円（指定使途）をウインドサーフィン連盟へ寄付する。
今後アネカカヌーまでご寄付予定。

小田切副会長：毎日新聞の連盟主催レース掲載などの後援について折衝中、次年度のレース予定の中より主要 10 レース程度を提案する事。

以下の協議事項、報告事項については、配布書類を一読していただく事。

協議事項（1）カヌー登録方法について

報告事項（1）みやぎ国体&高知カヌー国体報告

報告事項（2）ASAF 総会報告

報告事項（3）平成 13 年度 9 月現在会計報告&中間監査報告

報告事項（4）小型船舶の登録に関する法律について

報告事項（6）「ナショナルトレーニングセンター」JOC 強化拠点看板交付について

報告事項（7）ルール委員会活動報告

報告事項（8）毎日スポーツ人賞について

報告事項（9）ナショナルスタッフ認定講習会試験について

報告事項（10）表彰委員会について

報告事項（11）アネ募金カヌー募集について

報告事項（12）忘年会・新年会について

報告事項（13）平成 13 年度 9 月末カヌー登録について

以上

平成 13 年度臨時（第 4 回）理事会議案は、上記の通り議決ならびに承認されたことを確認し、議事録署名人は以下に記名捺印する。

平成 13 年 11 月 15 日

議 長 副 会 長 小田切 満寿雄

議事録署名人 理 事 昇 隆夫

議事録署名人 理 事 松田 健次郎